

# 株式会社日本有機四国【産業廃棄物処理、肥料製造・販売】

- 安全性への配慮を徹底しながら、取引先から排出された有機性廃棄物を受け入れ、価値ある資源へと再生する事業を展開。持続可能な循環型社会の実現を目指す。
- 自然環境に負荷をかけない方法で、社会を循環する“新たな価値”として再利用。食品由来の廃棄物を、完全発酵・熟成によって、オーガニック肥料として再生。

## ○SDGs経営へ取り組むまでの背景

・会社の企業理念の中には、「**有機性廃棄物を受け入れて資源に再生することで、地域に循環型社会を構築**」する旨が謳われており、SDGsへの抵抗感はなく、自然と社内でも受け入れられていた。

## ○SDGs経営へ取り組んだことによるメリット

・担当業務を通じて社会に貢献しているという意識が社員に芽生え、**社員の仕事に取り組む姿勢が前向きになり、社員の意識向上へとつながった。**

・リクルート面において、農学部出身者からの応募があるなど、求める人材から志望される企業へとなった。

## ○SDGsへつながるビジネス

・安全性への配慮を徹底しながら、取引先から排出された**有機性廃棄物を受け入れ、価値ある資源へと再生する事業を展開。持続可能な循環型社会の実現を目指す。**

・食品製造過程で発生する製造ミスや加工ミスのような製造工程ロス食品、総菜や弁当等の加工過程で発生するが食品としては使用されない余剰ロス食品などの食品残さを受け入れる。



～画像左・中：受け入れた食物残さ 画像右：完全発酵・熟成中～

・こうして受け入れた有機性廃棄物を再生。**自然環境に負荷をかけない方法で、社会を循環する“新たな価値”として再利用。**食品由来の廃棄物を、完全発酵・熟成によって、オーガニック肥料として再生。



・また、工業汚泥の受け入れも実施。一般的に汚泥とは、下水などに沈殿した液状または泥状の物質で、有用な有機成分（窒素、リン酸等）を多量に含む。その**有機成分を活用し、肥料化。**野菜や果樹等の肥料として使用することで、生育を促進し、有機成分が土壌から地下水へ浸透することにより、水資源への負荷を軽減。



## ○その他SDGsに係る取組について

・製造した肥料を**四国内の高等学校に無償提供し、農業経営の実践や農業従事者の育成支援**を行っている。  
・肥料の売り上げの一部を、食料支援団体に寄付。**途上国の地域社会と協力して栄養状態の改善と強い社会づくりを目指す取組や紛争・自然災害等の緊急時の食料支援に貢献**している。

・温暖化対策にも注力しており、二酸化炭素の排出削減の取組を実施。ショベルローダーやフォークリフトといった**機械設備を新しいものに刷新することで、二酸化炭素の排出削減に努め、温暖化対策にも積極的に取り組んでいる。**

## ○社外への発信について

・資源循環型社会の構築を目指す取組のモデルとなるようリサイクル製品、廃棄物のリデュース・リユース・リサイクルに積極的に取り組んでいる事業所や店舗を、他の模範となる優良モデルとして認定する「**愛媛県資源循環優良モデル認定制度（スゴeco）**」に同社の生産する肥料が認定を受けた。

## ○会社概要

愛媛県西条市に本社を置き、1986年より産業廃棄物処理事業者として創業。地域未来牽引企業であり、プラントメンテナンスを手がける（株）大石工作所（新居浜市）のグループ企業。食品循環構造の中核を担う事業者として、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」での目的とされる「持続可能な生産消費形態を確保する」ことをミッションとして、未来のための安全な食料生産システムの構築・維持に貢献している。



～再生されたオーガニック肥料～